
Close World

唯菜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Close World

【コード】

N9998U

【作者名】

唯菜

【あらすじ】

戦い方の練習 特に設定なし 主人公は男 若い男は神（自称）
神様の自分勝手にモンスターと戦う物語です。

男は基本しゃべりません。魔法の設定を入れようか考え中です。
多分面白くないと思います。それでも読みたい方はドゾ

始まり スライム

目の前が白く光った。

「君に今から戦ってもらおう」

そう若い男はいう

「異論は認めない」

そういうと白い光に包まれた。

気がつくとも森に囲まれたところにいた。

「これから私たちが飽きるまで毎日戦ってもらおう」

「9時にここへ呼び寄せる」

そう若い男はいう

「ここでは死んでもよみがえる。痛みはあるがな」

「さあ早速戦ってもらいましょう。いつておきますがモンスターから出る魔石を祭壇に置くまでは帰ることができないですからね」

そういうと若い男は白い光に包まれ消えてしまった。

目の前を見ると80cmぐらいの剣があった。

それから10分ぐらいたつとどこからか声が聞こえた。

魔物のお出ました。

目の前に現れたやつは2.3mぐらいの青いやつで

スライムのようなやつだった。

スライムは触手をのびし襲い掛かってくる。

男はそれをよけつつ的確になぎ払っていく、だが触手が次々と出てくる。

きりがないので前に突っ込んでゆく

スライムも攻撃手段をかえ青い液を飛ばしてくるが、男はそれをぎりぎりのところでよける。

男が振り返ると

青い液が落ちたところは草が解けていた。

青い液は酸のようだ。

男は気を引き締めスライムに向かう、だかスライムを一方向的にやられていくわけではなく、思いつきり体当たりをしてきた。

体中に酸がかかり男はひるむ、だが男は落ちた剣を拾いスライムの前まで走っていく

そして剣を振りかざす。

スライムに剣があたり叫び声が聞こえる。

そしてスライムだったものは眩い閃光を放ち消滅した。

倒した場所を見ると手のひらサイズの小さな光を放つ石を見つけた。

それを拾い祭壇の前に置く

そうすると若い男が現れた。

「よくやったさすが私たちが見込んだだけある」

「明日からもがんばってくださいませ。拒否権はないがな」

「おいおい説明するでしょう。モンスターをたおしてくれたらな・・・

・だから今日はかえるがいい」

そう若い男が言つと光に包まれその世界から消えた。

始まり スライム（後書き）

小説？はじめました

感想怖いです。でもほしいです。

悪い点は次々とドゾ 良い点は心の中で

まあ読んでくれる人はいないと思うけど・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9998u/>

Close World

2011年10月8日16時53分発行